

# 新・東中とんぼ通信

発行 横浜市立若葉台東中学校 編集責任 鈴木 徹

イラスト こみね さおり



## 第37号

### 「わかばクラス」の学習紹介

今回は、「わかば3組・小林級」の学習風景の紹介です。

3組は収穫した農作物を利用して、何種類かのメニューに挑

戦していました。栽培が不調に終わった作物についても、新たに材料を購入してメニューの実現を目指していました。メニュー数は多く、各班のこだわりが感じられました。ここでは、各メニューの調理風景についてそれぞれの様子を紹介して行きます。メニューは、**その1「トマトケーキ」** **その2「ポテトチップス」** **その3「ポップコーン」** **その4「スイートポテト」**です。いずれの班も試食後の感想は美味しいというものでした。メニューの選択、レシピの研究から熱心に取り組み、自分たちで栽培した素材を活用して調理した結果です。苦労が実って良かったですね。お味の成果も当然であったように思います。



その1

ふっくら膨らんで良いお味でした。



その2

からりと揚がっていました。



その3

こんな方法でも、ちゃんと完成です。

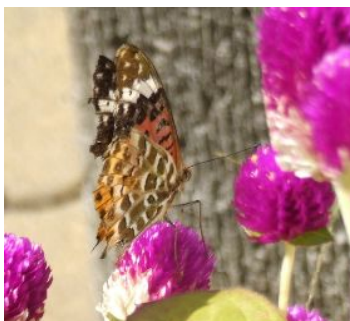


その4

あのサツマイモが!甘く大変身です。



### 秋になったのに?



10月12日は、確かに暑く感じられる日でした。でも、アブラゼミが鳴き、蝶(左写真)が盛んに飛び回っているのを見ると、何か違和感を覚えるのでした。全てを環境問題と結びつけてしまうのも如何なものかとは思いますが、「地球温暖化」という言葉が脳裏をかすめるのです。この季節感のズレはどこから来るのでしょうか。この

星が氷河期を迎えたように地球規模の気候変動なのか、それとも、環境破壊による影響であるのか・・・、どちらにせよ、落ち着かない気分なのです。ちなみに、今回目撃した蝶は名前を「ツマグロヒョウモン」といいます。近年、都市部で生息数が増加しているとはいえ、以前に本通信で紹介したアカホシゴマダラと同様に、本種も南方系の蝶なのです。それゆえ、秋空をバックにコオロギの音をBGMとして盛んに飛び回る姿は、やはり、ミスマッチと感じてしまうのです。

### 格好いいこと

ポップコーン班の後かたづけを何気なく見ていると気づいたことがあります。ひとりの生徒の手際の良さです。流れるような手順で洗い物をすませていきます。おっ、できるなという感じです。その姿は確にかっこよかったのです。